

景観特性ごとの基本方針表

名称	景観づくりの基本方針	配慮すべき視点		
		展開方針の概要	色彩に関すること (おすすめ色)	緑化等に関すること
① 森林景観・田園景観	<ul style="list-style-type: none"> 阿星・金勝連峰の緑の山並み、安養寺山などの里山環境、周囲に広がる田園や農村集落などによって構成されるふるさと栗東の心象風景は、現在の景観を適切に維持・保全するとともに、視点場の整備や建築物等の適切な誘導により、周辺環境と調和した景観づくりに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の山並みや農地など、自然環境との調和(高さ、色、素材、形態・意匠など) 山並みや里山への眺望景観の配慮 		
② 河川景観	<ul style="list-style-type: none"> 野洲川や葉山川、中ノ井川などの河川環境は、固有の資源として維持・保全するとともに、うるおいが感じられる空間として、あぜ道や遊歩道などの周囲の環境を活かしながら、個性ある景観づくりに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 水質の保全・浄化の配慮 生き物の生息環境への配慮 河川や用水と一体的な景観の形成 		
③ 歴史街道景観	<ul style="list-style-type: none"> 東海道及び中山道の歴史街道は、固有の資産として位置づけ、地域住民の主体的な意識や活動を育みながら、歴史・文化が香る景観づくりに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 連続した街並み景観の形成(高さ、色、素材、形態・意匠など) 歴史街道にあう緑化、土塀、板塀、柵などの設置 歴史街道からの眺望景観の配慮 		
④ 市街地景観	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生活の基本となる市街地は、市民や事業者の主体性を育みながら、身近な景観に対する意識づくりやルールづくり、実践活動を促し、支援することにより、快適で生活しやすい心が落ち着くほっとする景観を創造します。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆとりある住宅地景観の形成、周辺との景観の調和(高さ、色、素材、形態・意匠など) 緑豊かな緑化、シンボリックな緑化 ご近所同士による緑化などの取り組み(景観協定などへの繋がり) 		
⑤ 工場地景観	<ul style="list-style-type: none"> 産業拠点として計画的に整備された工場地は、周囲の景観への影響に配慮し、敷地周囲の積極的な緑化や建築物の適切な誘導、アクセス道路沿道や法面の緑化などにより、総合的な視点から緑豊かな景観づくりに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の景観への配慮、調和(高さ、色、素材、形態・意匠など) 敷地境界の積極的な緑化 周囲の景観に配慮した看板の設置(大きさや高さ、色、設置場所、素材、形態・意匠など) 		
⑥ にぎわい景観	<ul style="list-style-type: none"> 栗東駅前周辺や手原・安養寺市街地周辺は、多くの市民が生活する拠点として、都市の魅力や活力が感じられ、心が落ち着く、ほっとするあたたかい景観を創造します。 敷地周辺や屋上、壁面などへの積極的な緑化、アクセス道路の緑化などにより、やすらぎのある景観を創造します。 	<ul style="list-style-type: none"> 統一感のある景観の形成(高さ、色、形態・意匠など) セットバックなどによる歩行者空間の充実 屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化 周囲の景観に配慮した看板の設置(大きさや高さ、色、設置場所、素材、形態・意匠など) 		
⑦ 幹線道路景観	<ul style="list-style-type: none"> 主要な幹線道路沿道は、多くの人が行き交う重要な視点場として位置づけ、地域の実情に応じた適切な建築物や屋外広告物などの誘導、緑豊かな街路樹整備などにより、個性豊かで日々の生活に楽しさを感じることができる景観づくりに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路からみた景観・通りの連続性の配慮、周囲の自然環境との調和(高さ、位置、色、形態・意匠など) 山並みや里山への眺望景観の配慮 セットバックなどによる歩行者空間の充実 周囲の景観に配慮した看板の設置(大きさや高さ、色、設置場所、素材、形態・意匠など) 		